

団体名称 特定非営利活動法人 ETIC.(エティック)
所在地 〒150-0041 渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMI ビル4階
連絡先 TEL.03-5784-2115 FAX.03-5784-2116
設立 1993年
法人化 2000年3月
スタッフ 79名(うち専従49名) ※2019年5月31日現在 平均年齢34.7歳

役員
代表理事 宮城治男
理事 石川治江(NPO法人ケア・センターやわらぎ 代表理事)
理事 佐藤真久(東京都市大学大学院 環境情報学研究所 教授)
理事 孫泰蔵(Mistletoe株式会社 代表取締役社長兼CEO)
理事 松本大(マネックスグループ株式会社 代表執行役社長CEO)
理事 鈴木敦子(事務局長 兼任)
理事 山内幸治(事業統括ディレクター 兼任)
監事 樋口哲朗(樋口公認会計士事務所 代表)

<https://www.etic.or.jp>

Annual Report 2019



What's ETIC.

人をつくる、社会をつくる、日本をつくる。

私たちは20年間、日本の社会の未来をつくる人づくりに、一貫して取り組んできました。

人口減少社会、経済の縮小、グローバル化とナショナリズム、超高齢化、都市と地方の関係。

社会の未来はどうなっていくのか？

それを考え、実践し、支えあい、学びを共有し、また次の未来を描いていく。

私たちがつくっているのは、未来をつくる人たちのためのコミュニティです。

Our Mission

Entrepreneurial Training for innovative Communities.

変革の現場に挑む機会を通して、

アントレプレナーシップ(起業家精神)溢れる人材を育みます。

そして、創造的で活力に溢れ、ともに支え合い、

課題が自律的に解決されていく社会・地域を実現していきます。

Contents

- 4 ETIC.の26年間のあゆみとコーディネーターという存在
- 6 全国に広がる地域プロデューサー
- 8 ETIC.のまわりで育まれるコミュニティ
- 10 プロジェクト一覧
- 12 数字で読み解く、ETIC.
- 13 ピックアップ プロジェクト
- 22 ワールドウォッチ:世界の潮流とETIC./メディア掲載
- 23 ヒストリー
- 24 ETIC.コーディネーターが見据える未来の社会とは?
- 26 パートナー&スポンサー
- 27 ETIC.との関わり方
- 28 パートナー
- 29 スペシャルサンクス
- 30 ファイナンシャル レポート

ETIC. の26年間のあゆみとコーディネーターという存在

今年で創業26周年を迎えるNPO法人ETIC.(エティック)。実践型インターンシップや起業支援プログラムの提供を通して、挑戦する若者たちを支え続けてきました。創業当時から代表理事の宮城治男とともに、挑戦者たちを支える場をつくり続けてきた理事の2人、事業統括ディレクターの山内幸治と事務局長の鈴木敦子が、その過去と現在、そしてこれからについて語りました。

——ETIC. は、NPOや行政のコーディネーターとして機能する、いわゆる「中間支援組織」に分類されることも多いですが、創業当時からその言葉は使っていましたか？

鈴木 「中間支援組織」というより、起業家精神を育てていくという意志を持った、いちプレイヤーという気持ちでした。初期の頃の重要なキーワードとして「チェンジエージェント」という言葉がありました。佐藤真久さん（ETIC. 理事）から教えていただいた言葉で、**まだ価値がないものや異質なものを繋げて新しい価値を生んでいく**、そういった変革の触媒としての役割、という意味です。当時は、コーディネーターというよりも、チェンジエージェントとしての意識を持つようにしていました。

山内 大切にしているのは、情報や人のハブになること。**中間支援組織は、本来的にはハブだ**と思うんです。社会には、この人を仲介すればその分野のキーマンと出会うという、ハブになる人たちがいて、その少数のハブを通して情報や機会は流通し合っています。世の中にリソースは既にあるので、それが相互に相乗効果が生まれるような形で出会うような、そんなハブとしての役割を担えればと思っています。またそうやって関わりを持ってきた一人ひとりが、それぞれの立場でハブ的役割を担ってくれるようになると、色々な想いが実現されやすくなる社会に近づくのではないかなと。チェンジ・エージェントという言葉からは、そんなことを想像するきっかけをもらいました。

——昔と比べて、ETIC. の変わっていないところ、変わったところはどこでしょうか？

山内 「〇〇をやりたい」という人たちの意志を具現化していくところは変わっていません。学生、起業家、地域で活動する人、自治体、企業…対象は広がっていますが、そういった「始める人たち」のファーストフォロワー的な立ち位置で、それを応援し「初めのひと転がり」を伴走することは、いまも昔も変わらず続けています。ただ、

人の一対一のコーディネートから、場をつくってそこでコーディネートをするということが増えてきました。

鈴木 プログラムをつくり、コンソーシアムをつくり、コンセプトをつくりそこに参画するコーディネーターを増やすというものだったり。

山内 ETIC. の機能は、つくった場に入ってきてもらって、場の中の熱量を高め続けるようなコーディネーションをやり続けていくという側面が1つ。もう1つが、特定の意志が前進していくための、個対個のマッチングをしていくというものです。「場をつくる」、そして「個をつなぐ」。この2つです。

——これからのETIC. について聞かせてください。

山内 コーディネーター的機能を、様々なセクターに広げていきたいと思っています。世の中には、劇的なテクノロジーのイノベーションが必要な領域もちろんありますが、ETIC. の活動を通じて、人の意志のスイッチの入り方や、人と人との新しい繋がりとといったことが加速すれば前進することもかなり多いことが分かりました。2011年の震災後、個人を取り巻く社会環境やメインストリームをもっと巻き込んでいかないといけないと痛感したんです。行政や自治体、大企業の中にも、今までのやり方ではダメだと思っている方がたくさんいることも分かってきました。結局、そういった組織にいる個人の方がハブになってくださって、意志のある個人と結びつくことで、様々な変化が起こっています。これからも社会のインフラを巻き込みながら、これをどうスケールさせていかに注力していきたいです。

鈴木 ETIC. という場が、ある種の信用をつくりだしていることを嬉しく思っています。ETIC. のコミュニティで出会ったなら信頼できる人だということで、人が繋がって変化が起こるスピードが速くなっていると感じています。そういった形で、これからも信頼をつくり、信頼を積み上げていきたいです。



山内 幸治

NPO法人ETIC. 理事
事業統括ディレクター

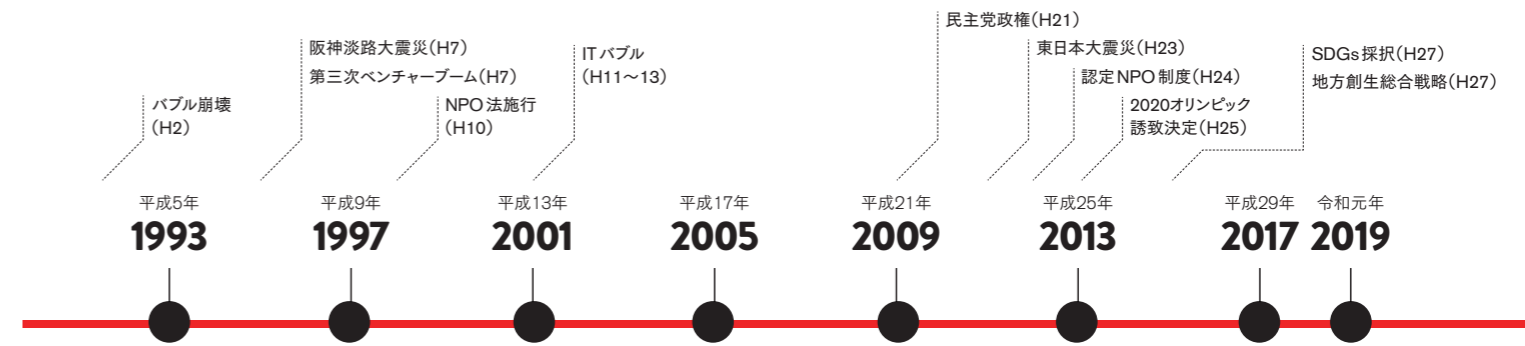
1976年生まれ。早稲田大学在学中にETIC. の事業化に参画。1997年に起業家型人材の育成とベンチャー企業支援を目的とした長期実践型インターンシッププログラムを開始。企業、大学、省庁などさまざまな組織と連携し、若者がチャレンジしていく環境づくりに取り組んでいる。



鈴木 敦子

NPO法人ETIC. 理事
事務局長/ディレクター

1971年生まれ。早稲田大学第2文学部卒業。ETIC. は創業期よりともに立ち上げる。年間約2000名の起業家や学生の起業相談、キャリア相談を受け、約100社のベンチャー企業と学生のインターンシップのコーディネーターなどの実績がある。現在は、マネジメントサイクル全般、主に人事、組織作りなど担当。



- 起業家精神に火をつける場づくり (H5~)
- 「就職ちょっと待ったシンポジウム」
- 「全国縦断若者会社をつくるセミナー」
- 「CAFÉ」(H11~)

場づくり

- インターンシップコーディネート (H9~)
- ・学生の成長と企業の成長
- ・目的ベースでのマッチング
- ・プロジェクト設計
- ・起業家精神を引き出すコーディネート
- ・主客融合(顧客にしないコミュニケーション)

人材×組織

- 社会人コーディネート (H21~)
- 「地域イノベーター養成アカデミー」(H21~)
- 「右腕派遣プログラム」(H23~)
- 「DRIVE キャリア」(H26~)
- 「YOSOMON」(H29~)

- 創業支援コーディネート (H14~)
- ・起業家精神を引き出すコーディネート
- ・刺激・加速を促すマッチング
- 「社会起業塾」

起業家の成長

- インパクトコーディネート (H26~)
- ・起業家たちの協働学習の場づくり
- ・多様な経営資源とのマッチング支援
- 「CHANGE」(H26~)

- 「STYLE」(H13~H17)

コミュニティでの成長

- 起業家精神が増幅されるコミュニティのコーディネート (H22~)
- ・マーケットコーディネーター
- ・マーケットパートナー
- 「内閣府地域社会雇用創出事業」(H22~H24)
- 「TOKYO STARTUP GATEWAY」(H25~)
- 私塾型の場づくり (H28~)
- 「MAKERS UNIVERSITY」
- 「ローカルベンチャーラボ」

- 企業コンソーシアムコーディネート (H20~)
- 「社会起業塾イニシアティブ」
- 「みちのく復興事業パートナーズ」(H24~)

- 企業CSR/CSV支援 (H26~)
- ・CSRアドバイザー
- ・企業社員研修

マルチセクターとの学習と共創

- マルチセクターコンソーシアムコーディネート (H28~)
- 「ローカルベンチャー協議会」
- 「and Beyondカンパニー」
- 「スクールプラットフォーム」etc

- コーディネートの地域展開 (H16~)
- ・地域コーディネート機関へのノウハウ移転 (インターンシップコーディネート、関係人ロコーディネート)
- 「チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト」
- 「地域コーディネーター養成講座」(H25)

コーディネート機能のスケールアウト

全国に広がる地域プロデューサー(地域コーディネート機関)

地域で挑戦の機会を創出し、新しい経済・仕事を生み出すプレイヤーを応援。
挑戦の生態系を支える地域コーディネート機能の発掘と育成。



北海道 地方

北海道・札幌市 **NPO法人北海道エンブリッジ**
北海道・浦幌町 株式会社ノースプロダクション
北海道・下川町 NPO法人森の生活/
下川町産業活性化支援機構
北海道・厚真町 厚真町役場 (LV:エーゼロ株式会社)



東北 地方

青森県・青森市 **NPO法人プラットフォームあおもり**
岩手県・盛岡市/大船渡市 **NPO法人wiz**
岩手県・釜石市 釜石シティブロモーション推進委員会
/株式会社パソナ東北創生
秋田県・秋田市 株式会社あきた総研
秋田県・羽後町 羽後町役場・地域おこし協力隊
山形県・鶴岡市 合同会社 work life shift
山形県・川西町 NPO法人きらりよしま
ネットワーク
宮城県・仙台市 **一般社団法人ワカツク**
宮城県・石巻市 コンソーシアムハグクミ
(一般社団法人ISHINOMAKI2.0、
合同会社巻組、一般社団法人イトナブ、
一般社団法人石巻観光協会)
宮城県・気仙沼市 **一般社団法人まるオフィス**
気仙沼まち大学運営協議会
宮城県・女川町 **NPO法人アスヘノキボウ**
宮城県・南三陸町 株式会社ESCCA・NPO法人底上げ
福島県・東北/相双地区 **一般社団法人Bridge For**
Fukushima
福島県・いわき市 NPO法人TATAKIAGE Japan



中部 地方

新潟県・長岡市 (公) 中越防災安全推進機構
富山県・富山市 **AtionOne** 合同会社
石川県・七尾市 株式会社御祓川
(LV:七尾街づくりセンター株式会社)
石川県・金沢市 株式会社ガクトラボ
福井県・福井市 株式会社LinkMaker
長野県・塩尻市 塩尻市役所・塩尻商工会議所
静岡県・熱海市 NPO法人 atamista
愛知県・名古屋市 **NPO法人アスクネット**
愛知県・岡崎市 **NPO法人コラボキャンパス三河**
岐阜県・岐阜市 **NPO法人G-net**
岐阜県・高山市 ひだインターン留学実行委員会
(NPO法人まちづくりスポット/
飛騨信用組合)



関東 地方

茨城県・東北地域 茨城県 (茨城県北地域おこし協力隊)・
株式会社えぼっく
栃木県・宇都宮市 **NPO法人とちぎ**
ユースサポーターズネットワーク
埼玉県・ときがわ町 株式会社温泉道場
千葉県・鋸南町 株式会社R.project
東京都・渋谷区 **NPO法人ETIC.**
神奈川・横浜市 **NPO法人ETIC.横浜ランチ**
千葉県・銚子市 銚子円卓会議

Point

- 全国に広がる挑戦機会**:若者が何らかの分野で挑戦したいと思ったときに、全国どこでもふさわしい機会が提供される。
- 地域産業の発展**:企業の課題発見解決力が高まり、その担い手としての若者の巻き込みが定着していく。
- 人をひき付ける元気な地域社会の実現**:地域の課題解決を担う社会起業家が各地域から誕生する。



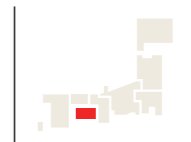
近畿 地方

三重県・四日市市 **一般社団法人わくわくスイッチ**
尾鷲商工会議所
三重県・尾鷲市 **株式会社熊野古道おわせ**
大阪府・大阪市 **NPO法人JAE**
奈良県・奈良市 **NPO法人ならゆうし**
兵庫県・神戸市 NPO法人生涯学習サポート兵庫
兵庫県・宍粟市 人財力フル活用プラットフォーム
推進会議 (市役所・信金・商工会)
兵庫県・尼崎市 **一般社団法人あま・ひと・みがき・**
プラットフォーム



中国 地方

岡山県・岡山市 **NPOエリアイノベーション**
岡山県・岡山市 瀬戸内海放送、
KSBマーケティング・セールス岡山
岡山県・西粟倉村 エーゼロ株式会社
鳥取県・鳥取市 **NPO法人学生人材バンク**
島根県・松江市 株式会社シーズ総合政策研究所
島根県・雲南市 NPO法人おっちラボ
広島県・広島市 一般社団法人EACH
山口県・周防大島町 株式会社ジブンノオト



四国 地方

徳島県・徳島市 徳島大学 (COC+推進コーディネーター)
徳島県・南部1市4町 「四国の右下」若者創生協議会
(徳島県庁南部総合県民局)
徳島県・上勝町 株式会社いりどり
徳島県・三好市 株式会社AWA-RE
愛媛県・松山市 **NPO法人Eyes**
高知県・高知市 高知大学
高知県・四万十町 **一般社団法人いなかパイプ**



九州・沖縄 地方

福岡県・福岡市 株式会社YOUTURN
福岡県・飯塚市 株式会社ハウインターナショナル
熊本県・熊本市 **一般社団法人フミダス**
熊本県・南小国町 南小国町役場・南小国町
ローカルベンチャー推進協議会
熊本県・球磨郡五木村 株式会社日添
大分県・竹田市 竹田市役所・定住支援員
大分県・大分市 おおいたスタートアップセンター
宮崎県・日南市 創客創人センター・日南市役所
鹿児島県・鹿児島市 株式会社マチトピラ
沖縄県・浦添市 株式会社ルーツ
沖縄県・那覇市 一般社団法人しまのわ

太字: 2018年度チャレンジコミュニティプロジェクト
会員・準会員団体

細字: その他事業での連携コーディネート機関

下線: ローカルベンチャー協議会参画自治体
(ローカル事務局10団体)

チェンジ・エージェントとしての「コーディネーター」の広がり ~企業人コーディネーター~

ETIC.では人と人、人と組織、さらには相互に切磋琢磨・ナレッジ共有・共創を生み出していく場のコーディネートに一貫して取り組み、さらには地域コミュニティへの拡大を進めてきました。昨今のSDGsやオープンイノベーションの潮流の中で、チェンジ・エージェントとしての「コーディネーター」の役割を担う存在を、ビジネスセクターや他の公益セクターにも広げています。それぞれのリソースを持つ組織に連携可能なコーディネーターが広がることで、相互のリソース活用がより有機的になることが期待されます。

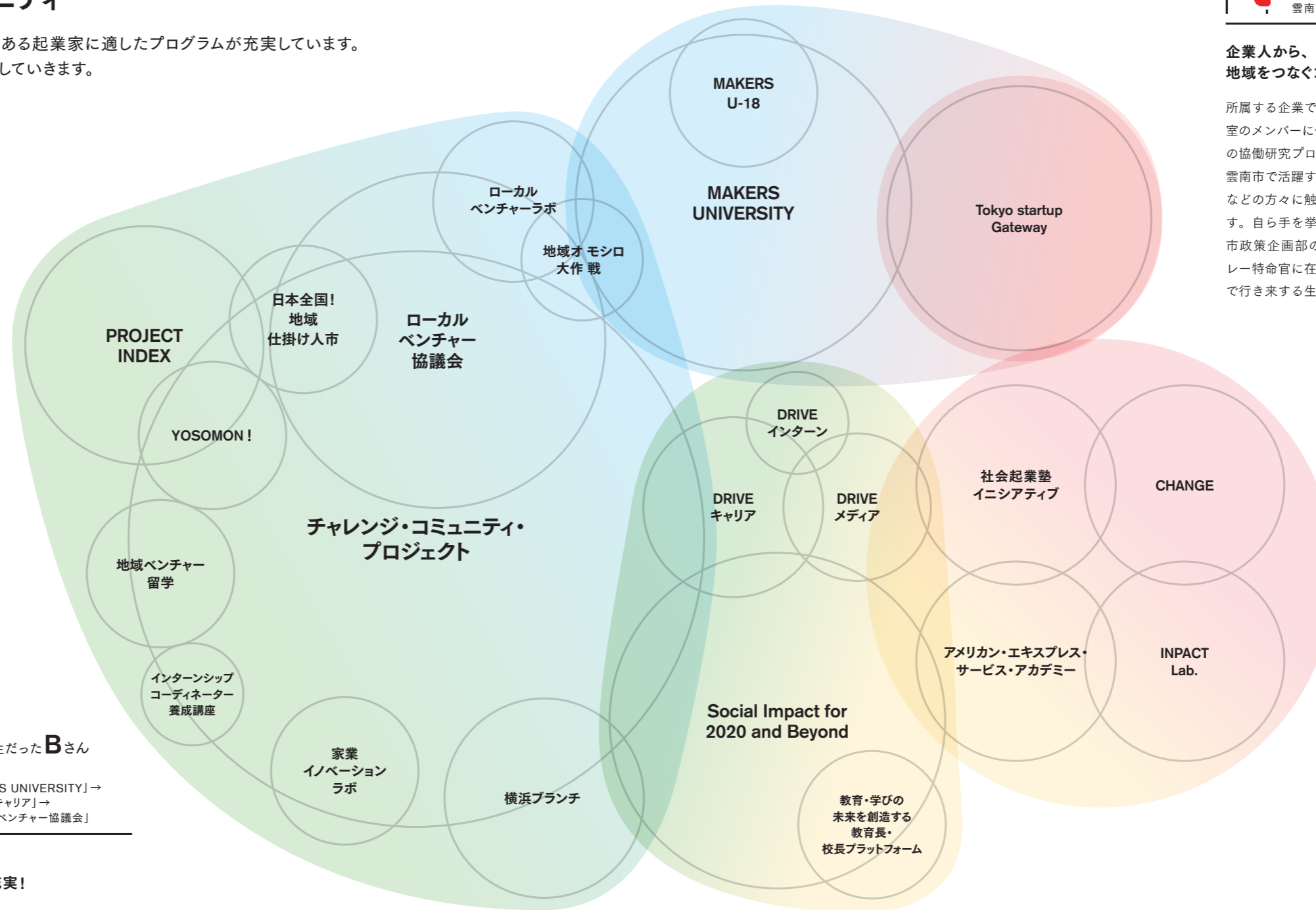
(例) 島根県雲南市に地域おこし企業人(総務省)として活動をする竹中工務店・岡晴信さん

プロボノコーディネーターとして活躍するPwCコンサルティング・日向昭人さん/塚越廣幸さん

ETIC. のまわりで育まれるコミュニティ

ETIC. には起業～成長～育成と、さまざまなフェーズにある起業家に適したプログラムが充実しています。これからも若者が安心して挑戦できるフィールドを提供していきます。

様々なプロジェクトに参加する挑戦者たちとそれを支えるコーディネーターたち、そして多様なセクターのパートナーとのコミュニティは、年々広がりを見せています。挑戦する人を応援したい。そんな思いで始まったETIC. のコミュニティは、多様なテーマ、地域、年代、セクターの方々との出会いを通じて、次々に新しいプロジェクトが生まれ、広がっていきました。ここではその全体図と、挑戦者たちの横顔をご紹介します。ETIC. のコミュニティに参加することで、「いつかにかやってみよう」という気持ちが具体的な形になった方。思いがけない出会いを通じて、生き方が大きく変わった方。応援される側だった若者から、起業を経て若者を応援する側になった方も。円の大きさは、関わる人の多さを表しています。各プロジェクトの詳細は、次のページ以降をご覧ください。



社会起業家 Aさん
キャリア
 「社会起業塾」→ MAKERS UNIVERSITYメンター

自ら挑戦しながら、後輩の育成にも参画!

「ソーシャルベンチャースタートアップマーケット」参加を機に創業し、「社会起業塾」で事業をブラッシュアップしたAさん。現在では起業を志す若者を応援する側に。自分が解決していきたいテーマでメンターをすることで、組織は違えど同じ課題に挑む若者を増やすにも貢献します。社会起業家にとっての後輩育成は、競合者をつくることなく、共に挑戦する仲間を育てることに繋がります。

当時学生だった**Bさん**
キャリア
 「MAKERS UNIVERSITY」→ 「DRIVE キャリア」→ 「ローカルベンチャー協議会」

起業だけじゃない 出会いと選択も充実!

環境問題を解決したく東大で基礎研究、起業も志し「MAKERS UNIVERSITY」で試行錯誤する。そして、やはり地域循環、コミュニティ、プラットフォームづくりの事業をやりたいと、起業しようか就職するか迷っていましたが、「ローカルベンチャー協議会」で挑戦している西栗倉村の「さとのば大学(地域おこし協力隊)」に「DRIVE キャリア」を通じて参画。卒業と同時に、東京から西栗倉村へ移住し、新天地で活躍中。

元ETIC. スタッフの**Cさん**
キャリア
 ETIC. コーディネーター→ 地元で起業

ETIC. スタッフを経て地元で起業!

3年後に自分の地元でコーディネート事業を創業することを目標に、ETIC. のコーディネーターとして参画。「チャレンジコミュニティ」の事務局として地域の起業家に学んだのち、地元に戻り、念願の起業。現在では地元の仲間と、地元のチャレンジを応援する事業を、ETIC. や「チャレンジコミュニティ」と共に展開中。

社会起業家**Dさん**
キャリア
 「社会起業塾」→ 「Social Impact for 2020 and Beyond」→ ETIC. パートナー

プログラム卒業生が ETIC. の事業パートナーに!

継承した家業のイノベーションを目指し、社会起業塾に参画し事業は順調に成長を続けています。この経験を機に、家業をイノベーションさせていく継承者を支援するアクセラレーションプログラムを提案しました。「Social Impact for 2020 and Beyond」のアジェンダオーナーとして、仲間、スポンサーを募り、ETIC. との共同事業としてスタート!

霞ヶ関の新人**Eさん**
キャリア
 人事院の研修→ 社会課題に取り組む現場訪問

行政マンが社会を変える 若者の現場を学ぶ!

様々なセクターの学びの機会にETIC. のコミュニティを活用するケースも。ETIC. では毎年、人事院の研修として、社会課題の解決に取り組んでいる社会起業家への新入省者の訪問をアレンジしています。普段の仕事の中では気づくことができない新しい視点を得られると高い評価をいただいています。

大手ゼネコン企業の**Fさん**
キャリア
 大手ゼネコン→ 雲南市政策企画部(在籍出向)
















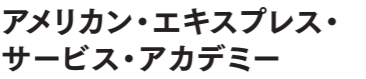






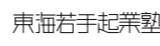

企業人から、地域をつなぐコーディネーターに!

所属する企業で新設されたまちづくり戦略室のメンバーに任命されたFさん。ETIC. との協働研究プロジェクトを通じて、鳥根県雲南市で活躍する社会起業家や自治体職員などの方々に触れて、大きな影響を受けます。自ら手を挙げて、2019年4月より雲南市政策企画部のソーシャルチャレンジバレー特命官に在籍出向。東京と雲南を隔週で行き来する生活に。

地方自治体職員**Gさん**
キャリア
 町役場職員→ローカルベンチャーラボ第二期→コースファシリテーター

職場を飛び出し、起業家育成を!

町役場の地方創生事業を担当する中、「ローカルベンチャーラボ」に参加。社会起業家や建築家など全国の多士済々なメンバーとの交流に刺激を受けます。2018年度内閣府の「SDGs未来都市」提案書を作成し、見事採択されました。2019年度は「ローカルベンチャーラボ」のコースファシリテーターになり、地域を越えて、新たな仲間育成にも携わっています。

Project name	Project name	Project name	Project name
 MAKERS UNIVERSITY 学生 スタートアップ・起業家・NPO 人材育成領域	地方創生カレッジ 「地域における ソーシャルビジネスの立ち上げ」 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 インパクト創出支援領域	 ハマチャレ! 学生 人材育成領域	 PROJECT INDEX 日本全国の実践型インターンシップ検索サイト 「PROJECT INDEX」 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 人材育成領域 事業支援領域
 MAKERS UNIVERSITY U-18 高校生 スタートアップ・起業家・NPO 人材育成領域	チャレンジ・コミュニティ・ プロジェクト(チャレコミ) 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 企業・CSR 大学 人材育成領域 インパクト創出支援領域	 かながわ学生 ビジネスプランコンテスト 学生 人材育成領域	Social Impact for 2020 and Beyond (and Beyond カンパニー) 高校生 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 企業・CSR 大学 インパクト創出支援領域
 TOKYO STARTUP GATEWAY 高校生 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO 人材育成領域	 ローカルベンチャー協議会 自治体 企業・CSR インパクト創出支援領域	 マイプロ for Kanagawa 学生 人材育成領域	 and Beyond Company 未来への意志ある 挑戦者・起業家のアクションデータベース 「社会課題解決中マップ」 高校生 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 企業・CSR 大学 インパクト創出支援領域
 社会起業塾イニシアティブ スタートアップ・起業家・NPO 企業・CSR 事業支援領域	 ローカルベンチャー 協議会 自治体 企業・CSR インパクト創出支援領域	 東北オープンアカデミー 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 企業・CSR	社会課題解決中MAP 未来への意志ある 挑戦者・起業家のアクションデータベース 「社会課題解決中マップ」 高校生 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 企業・CSR 大学 インパクト創出支援領域
 CHANGE 西武ソーシャルビジネス成長応援融資 「CHANGE」 スタートアップ・起業家・NPO 事業支援領域	 YOSOMON! 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 企業・CSR 人材育成領域 事業支援領域	 家業イノベーション・ラボ 学生 社会人 ベンチャー・中小企業 企業・CSR 人材育成領域	教育・学びの未来を創造する 教育長・校長プラットフォーム インパクト創出支援領域
 アメリカン・エクスプレス・ サービス・アカデミー スタートアップ・起業家・NPO 企業・CSR 事業支援領域	 ローカルベンチャーラボ 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO 自治体 企業・CSR 事業支援領域	 ゴールドマン・サックス中小企業 経営革新プログラム 学生 社会人 ベンチャー・中小企業 企業・CSR 事業支援領域	 SCHOOL PLATFORM 教育・学びの未来を創造する 教育長・校長プラットフォーム インパクト創出支援領域
IMPACT Lab. (インパクト・ラボ) スタートアップ・起業家・NPO 企業・CSR インパクト創出支援領域	 日本全国! 地域仕掛け人市 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 インパクト創出支援領域	 みちのく事業ブラッシュアップ キャンプ(主催:みちのく復興事業パートナーズ) スタートアップ・起業家・NPO 企業・CSR 事業支援領域	DRIVE キャリア 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 事業支援領域
Barclays × 就労支援プロジェクト スタートアップ・起業家・NPO 企業・CSR インパクト創出支援領域	 地域ベンチャー留学 学生 ベンチャー・中小企業 自治体 人材育成領域	 東海若手起業塾 スタートアップ・起業家・NPO 企業・CSR 事業支援領域	DRIVE インターン 学生 ベンチャー・中小企業 人材育成領域
福島復興産業人材育成塾 リーダーシップセッション 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 事業支援領域	 ETIC 横浜 横浜ランチ 学生 ベンチャー・中小企業 自治体 人材育成領域 インパクト創出支援領域	Tohoku Global Challenge ベンチャー・中小企業 事業支援領域 インパクト創出支援領域	DRIVE ウェブマガジン DRIVE メディア 学生 社会人 スタートアップ・起業家・NPO ベンチャー・中小企業 自治体 インパクト創出支援領域

数字で読み解く、ETIC.

私たちETIC.が提供している挑戦の機会への参加者は、年々、人数も多様性も広がりを見せています。このページでは、その具体的なデータをご紹介します。

リーチ数

約 **12,500** 名

2018年にETIC.が主催したプログラム・イベントにエントリーした、学生、若者、起業家、ソーシャルセクター、ビジネスセクター、行政関係者の人数

▲意志ある挑戦者を増やすため、またそうした人材との協働や応援していただく仲間を広げていくために、ETIC.では年間通じて多様なプログラムやイベントを開催しています。2018年度には、それらのプログラムやイベントに、のべ約12,500名の方にエントリーいただきました。学生、起業家、ソーシャルセクター、ビジネスセクター、行政関係者など、多様な立場・業界の方たちが、それぞれの意志を持って集っています。

アウトプット

1,521 名
輩出起業家数

ETIC.の学生向けプログラム
OBORG起業家数:254名

▲ETIC.のプログラム卒業生による新規創業や、シード・スタートアップ期にETIC.のハンズオン支援プログラムに参加した起業家の累計。2014年以降、年々輩出起業家数は増加傾向に。10代20代の起業や地域での起業の増加、テクノロジー領域と社会課題領域が隣接してきているのも、ここ数年の流れです。輩出起業家たちの中から、次の世代を支援するためにメンターや寄付者になってくれる循環が生まれています。

●社内/社外コーディネーター数の比較 (2013年(ETIC.20周年時)と2018年)

	ETIC. 社内	ETIC. 社外
2013年 (ETIC.20周年時)	26人	5人
2018年	41人	15人

▲ETIC.の様々なプログラムを推進していく上で欠かせないのが、挑戦者と機会、また挑戦者同士をつないでいくコーディネーターの存在です。5年前と比較して、その数は31人から56人と、1.8倍に増えています。社内のプロパーコーディネーターだけでなく、兼業やプロボノ、業務委託等の形で関わるコーディネーターも増えています。

プログラムへの参加者数

●起業家および起業家予備軍のステージ別プログラム参加者数

	2016年	2017年	2018年
次世代リーダー層 若者向けプログラム/大学での講義	2,000+名	6,000+名	4,000+ 名
アイデア層 ビジネスコンテスト/マイプロジェクト	1,085件	1,432件	1,333 件
シード・スタートアップ層 アクセラレーション/リーダーシップ研修	207件	275件	458 件
グロース層 資金調達支援/人材マッチング支援	109件	93件	293 件
インパクト層 個別アジェンダ推進	3件	43件	59 件

▲ETIC.が展開する各種プログラムに参加した若者たちの総数になります。シード・スタートアップ層以降の実際に事業を仕掛け始めている若者たちや、創業から10年以上が経過したOBORG起業家たちのインパクト創出への関わりが増えています。また、最近では起業家だけでなく、大手企業や自治体により主体となったインパクト創出案件への関与も増加しています。

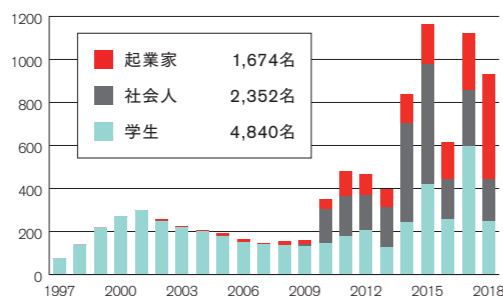
プログラムへの参加者の内容

これまで
約 **8,800** 名

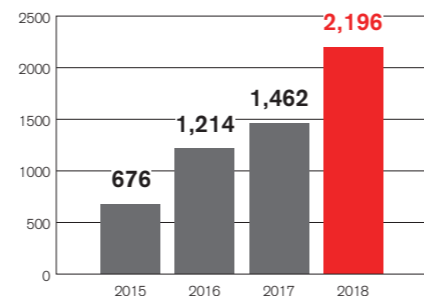
の若者たちが、変革・創造の現場に実践者として参画

◀ETIC.の次世代リーダー育成の最大の特徴は、実践現場の中で変革や価値創造に挑みながら、起業家精神や起業家としての能力を高める点にあります。NPOやベンチャー企業、地域の企業などでのインターンシップや兼業・副業的なチャレンジもあれば、自身の想いを形にするマイプロジェクト推進、さらには新規創業への挑戦と、その実践への挑み方は多様です。2018年度は933名が新たに変革・創造の現場に参画しました。

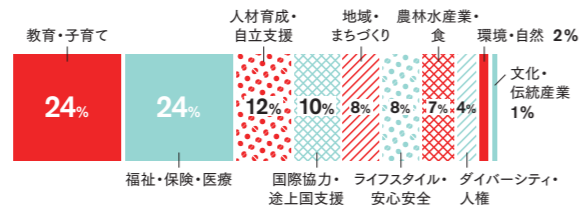
●参加数(学生、社会人、起業家)の変遷(1997年~2018年)



●創業支援プログラムへのエントリー数の推移(直近4年)

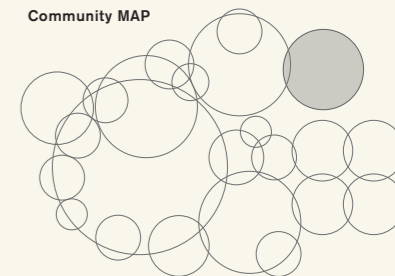


●社会起業塾イニシアティブデータより



◀社会起業塾イニシアティブには、毎年多様な分野の社会課題に対する提案が届きます。これまでも、「病児保育」や「高齢者向け住宅課題」、「発達障害の早期療育」など、まだ社会化されていなかった課題に対する提案もなされてきました。社会課題を問題提起することも、社会起業家たちが担っている大きな役割です。

ピックアップ プロジェクト_1



TOKYO STARTUP GATEWAY

毎年1,000人以上が応募。多様な起業の裾野を広げる「ブラッシュアップ型ビジネスコンテスト」

2018年で5年目を迎えた「TSG」。1,229件のエントリーがあり、高校生・アーティスト・専門家・副業など起業の軸ではなかった人たちのチャレンジやアプローチがさらに広がりました。エントリー者それぞれが多様な成長とEXITを果たせるよう300人ギャザリングやマーケットイベントなど新たな取り組みをスタートしました。

Coordinator Comment

多くの方々(特に高校生も含めた若い層)が、「意識高い」感じや真面目な感じだけでなく、ワクワク楽しんで関われるようにと場づくりをしてくれています。TSGに関わる参加者たちは「起業同期」という言葉を使い、孤独なチャレンジになりがちな起業に「同期のつながり」ができることを価値と感じてくれています。メンターとのマッチングから投資につながることも。ソーシャル・ローカルなどに限らない多様なチャレンジはETIC.の他の機会との親和性も高く、具体的に次のステップを紹介され、新たなアクションを始める参加者も多くいます。



知事もはじめてファイナルイベントに参加。東京のエコシステム拡大に、改めてエールをいただきました。



地域のVC、コワーキング、シティホテルと連携し、ブロックパーティを開催しています。

渋谷実験基地プロジェクト

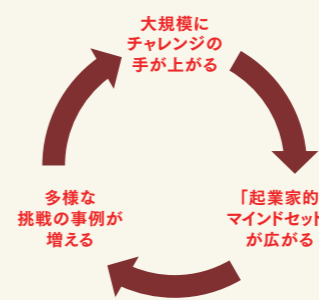
渋谷の街全体を実験場に。街の人々の結節点から多様なチャレンジを創出する。

ETIC.の育った街でもある渋谷は、若者と変化へのチャレンジが集まる街。リアルな街(場の活用)から、ETIC.ネットワーク、リソースのさらなる活性化と創発の促進を図るアクションをスタートしました。かきこまったプログラムだけでは生まれない、フランクな広がりから大規模に起業家的ライフスタイルを拡大する試み。今後、行政・企業・学校・地域を巻き込んで街ごとアップグレードする動きとして育ていく方針です。再開発の山場を迎える渋谷の変化の中から、新たな結節点・創発の場を育む企画を並行して推進しています。

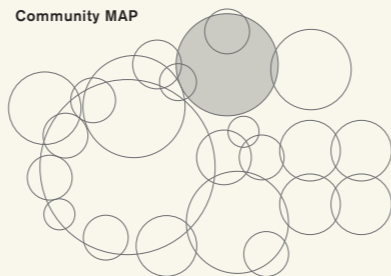
クリエイティブシティ・チーム 始動

起業家的ライフスタイルを、都市にインストールする

多様な働き方・暮らし方・楽しみ方を、個人が自らの手で創り出す時代が始まりつつあります。高校生も子育てパパママも障害を持った人も外国人も研究者も。多くの人材が集い、働き、暮らす大都市で、自らの手で望む暮らし・ビジネス・カルチャー・社会制度を創る日常。そんな起業家的ライフスタイルを拡げる。これをミッションに、ETIC.の新たな事業部として「クリエイティブシティ・チーム」を発足しました。



佐々木健介
クリエイティブシティ事業部



MAKERS UNIVERSITY

全校生徒、革命児。未来の起業家・イノベーターのための学校
『MAKERS UNIVERSITY』

ETIC. が2016年、新たに設立した「MAKERS UNIVERSITY」は、10年後の世界の主な役になる未来のイノベーター達が集い、未来を描くために、共に挑み、共に学ぶ、挑戦者のための学校です。日本を代表する屈指のイノベーターをメンターとして、全国から集まった同世代の志高い仲間と共に、4週間の事前カリキュラム、8か月間のイノベーション実践に挑んでいきます。



岡本 翔

株式会社 RASHISA 代表取締役社長 / MAKERS UNIVERSITY 3期生

最高の就活を送るために
最適なキャリアアドバイザーを選べる
就活サービス。



洪 英高

同志社大学4年 / 株式会社ダイバーシーズ 代表取締役 / MAKERS UNIVERSITY 3期生

混ぜる暮らしで、
世界はもっと豊かになる



渋川 駿伍

noFRAME schools, inc CEO / 日本ポップコーン協会会長 / MITxMicroMasters / MAKERS UNIVERSITY 3期生

「自分がワクワクするか。そしてそれを
周りのみんなにもワクワクしてもらえるか」
世界を前進させるポップコーン起業家！



田中 惇敏

NPO法人 Cloud JAPAN 代表理事 / 株式会社おかえり代表取締役社長 / 一般社団法人 Omusubi 代表理事 / MAKERS UNIVERSITY 1期生 / 九州大学大学院人間環境学府 都市共生デザイン専攻 修士課程

空き家と子ども大好き！現場から
日本を変えるローカルアントレプレナーの
クラウドをつくるゆるい系起業家

僕にとって MAKERS UNIVERSITY は「大学」です。MAKERS UNIVERSITY という大学には様々な機会や環境が存在します。その機会や環境を活かすも殺すも自分次第です。例えば「メンター」である同年代の起業家や先輩経営者。まだまだ経営者と言えない起業家の僕たちに経験と知識、悔しさや喜びをあたえてくれる存在です。起業家だけではなく、フリーランスや旅人、研究者、様々な人種が存在する場。自分は何のために生きているのだろう。自分にはどんな価値があるのだろう。そんな思いが浮かぶは何十回も何百回も経験しました。鼻柱が折れる瞬間。大海を知る瞬間。沢山の発見がありました。それら全てが今の僕を作っていますし、それら全てがこれからの僕を作っていきます。そしてこれからの未来を僕たちで創っていきたくです。もともと在籍していた4年制の大学を中退した僕からすると、MAKERS UNIVERSITY の謳う「卒業のない学校」とは大変ありがたい制度です。3年以内に1%でも還元できるように今日も目の前のことをひたすら、がむしゃらに貪欲にやっています。

Profile

1995年、広島生まれ。幼少期から高校時代の18歳までを広島で過ごす。小学校2年生時にバスケットボールを始める。県の優秀選手に選出されたり、高校推薦をもらったりするが、とある本がきっかけとなり起業家に憧れて大学進学。福岡の大学に進学して、ヒッチハイク日本一周、営業インターンなどを経験して2017年1月に同社を創業。就活イベントを1年半ほど福岡で実施したのち、2018年8月に上京、現在に至る。

私にとって、MAKERS UNIVERSITY は、ONE PIECE に例えるなら、シャボンディ諸島のような存在でした。MAKERS UNIVERSITY にはそれほどステージが違わない同世代に加え、業界の第一線で活躍する歴戦の猛者（メンターと呼ばれる人）が集まっていた。そして、私は彼らとの交流によって、すごく切磋琢磨することができ、最終的に「新世界」へと旅立つことができたと感じています。MAKERS UNIVERSITY での8ヶ月間は決して順調満帆なものではありませんでした。時に、ライバルとバトルし、歴戦の猛者に敗れて挫折し、目的を見失い迷走もしたからです。転んでも転んでも、その度に立ち直り前に進んでいくことができたのは、やはり MAKERS の仲間と師の存在があったからこそだと思います。だから、MAKERS UNIVERSITY は私にとって、最高の港のような存在でした！

Profile

1993年、大阪生まれ。同志社大学在学。2015年8月から16年2月まで株式会社 Progate 初のエンジニアインターン生としてプログラミング技術を習得。第3期文部科学省トビタテ！留学 JAPAN の奨学生としてアメリカ合衆国カリフォルニア州シリコンバレーに2年間留学。留学中の2016年11月に留学相談ができるシステムをオンラインで提供するサービス「Diverseas」をリリース。2018年1月より、本田圭佑氏が代表を務める KSK Angel Fund より出資を受けたことを契機に株式会社ダイバーシーズを設立。事業転換を経て、「混ぜる暮らしで世界はもっと豊かになる」をミッションに、下宿文化をアップデートするホームシェアサービス「Homii」を開始。外国人のゲストと日本人のホストに限定して、サービスを開始した Homii ですが、将来的には、国籍を問わず、あらゆる人が「混ぜる暮らし」を実現するサービスへと進化させていきます。地域の過疎化、少子高齢化で増加する独居老人、増え続ける空き家、職人の継承人不在。日本が直面する社会問題に、反グローバリズム、地域住民との共生という世界が直面する社会問題に、「混ぜる暮らし」という切り口からアプローチしていきます

高校を卒業してすぐに日本の大学に進学しなかった私にとって、MAKERS は同年代の弾けている仲間に出逢える唯一無二の環境でした。時代は遡ること高校時代。たったひとつのキャッチフレーズが心の琴線に引っかかり、気づいたときにはエントリーシートを埋め始めている自分がいました。「この地球に、まだ無いワクワクを」。これまでの人生、多くの決断をしてきましたが、これほどまでに自信を持って誇れる意思決定は多くありません。それだけ、MAKERS には思い入れがあります。そんな MAKERS もまだ誕生したばかり。様々な人がそれぞれの角度で、この特殊な環境を表現します。「21世紀のアカデミア」「現代版松下村塾」「日本版 Y combinator」。ですがそのどれも、この学び舎を表す単語として、完全に腑に落ちるものはありません。これほどまで多くの志士が集うこのコミュニティ。つまるところ、MAKERS UNIVERSITY とは新たな概念なのです。どのコミュニティにも受け入れてもらえなかった異端児にとって、最後の砦。度重なるカルチャーショックの嵐と学ぶことの多さでパンクしそうになるけれど、それらを一生かけて解きほぐしていく。ここ MAKERS の門をくぐる者たちの登る山は、それぞれ違います。迷い苦しむ葛藤し、腕きながらも。自分の信じた道を歩み続けるという点だけは、この究極の多様性とも言えるユートピアにおける唯一の共通点と言ってもいいでしょう。「この地球に、まだないワクワクを、届け続けます」。

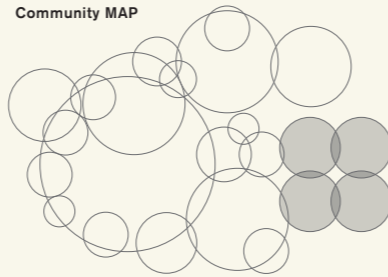
Profile

1998年生まれ。高校時代に地元長野県で地方創生を志し、高校生カフェを創設。1年間のギャップイヤーを取得。日本をヒッチハイクで周りながら、1ヶ月間お金を使わない実験や講演活動、インターンシップやプロジェクトの立ち上げを経験。この間、ポップコーンの魅力に取り憑かれ、日本ポップコーン協会設立。その後、2018年の1月にスタートした MIT の MicroMasters プログラムのオンラインコースに進学。同年、人生の主人公を増やすべく、教育系テックカンパニーである株式会社 noFRAME schools を創業。2度の資金調達を終え現在に至る。

人と違ってなくてもいい。違っててもいい。でも、何としてもこれは実現したい。心からこの人のためになりたい。そう思うことは誰にでもあると思います。そして、そのときにできない無力感や喪失感は胸がはち切れるほど悔しいです。アントレプレナーシップや起業と聞くと難しく感じるけれど、少なくとも私は、気仙沼の大好きなおばあちゃんのために気仙沼に住んで復興支援を生業にするという夢は叶ったし、子どもと一緒に働ける職場づくりによって自分もみんなもハッピーにできました。MAKERS で、ひたすら why を繰り返して見えてきた自分の本質は、何度失敗しても立ち上がれる勇気をくれます。MAKERS の卒業のないコミュニティは自分だけで抱えきれない悲しみを優しく包み込んでくれます。本当に困ったとき。助けてくれたのは MAKERS UNIVERSITY で修めた経験と仲間でした。MAKERS の設立・運営を担ってくださった皆様、共に MAKERS として頑張っているみんな、MAKERS に関わる全ての皆様に感謝しています。

Profile

1993年生。3.11を機に東北の人の温かさに触れ、大学を4年間休学し、空き家を改修して被災地への観光客が被災者と交流しながら泊まる「気仙沼ゲストハウス“架け橋”」を運営する傍ら、同様の空き家改修を通じたソーシャルアントレプレナー支援モデルを全国13軒の空き家で運用。YOUNG JAPAN ACTION 2014にて日本最優秀賞を獲得。浅田真央氏と共に CM やニュースゼロに出演し、被災地の復興支援を全国に伝えた。2017年、「まちのゲストハウス考」を発刊。復興庁主催「新しい東北」2018において NPO としては2年ぶり、学生としては初の企業賞を受賞した。好きな言葉は「最後は愛が勝つ」。



ピックアッププロジェクト_3

社会起業塾イニシアティブ
西武ソーシャルビジネス成長応援融資
「CHANGE」
アメリカン・エクスプレス・
サービス・アカデミー
IMPACT Lab. (インパクト・ラボ)



社会起業塾イニシアティブ

企業や先輩起業家が支える、創業期の社会起業家のためのプログラム

人口減少社会、超高齢化、グローバル化、ITの進歩、都市と地方の関係変化。未曾有の変化が訪れる中、私たちはどんな社会をつくっていくのでしょうか。社会起業塾イニシアティブでは、2002年よりこうした問いに向き合い、課題解決や価値創造に挑む次世代の担い手づくりに取り組んできました。これまでに118名の社会起業家の創業期をサポートし、卒業生のうち、87%が事業を継続、90%が他のNPOや企業・行政等に対し、モデルやノウハウを展開しています。2018年度は9名の起業家を輩出。

- オフィシャル・パートナー: NEC、花王株式会社、株式会社NTTドコモ、株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ
- プログラム・パートナー: 株式会社電通 ●協力: IHHOE

Coordinator Comment

SDGsが2015年の国連サミットで採択され、世界中で目標達成に向けて動き始めています。さまざまな社会問題が加速度的に増加する中で、社会を変える可能性を持ったスタートアップを私たちは応援しています。優れたビジネスプランを実行するだけでなく、セクターを越えた多様な人々をビジョンでつなげ、それぞれの力を引き出しながら社会の仕組み自体から変革していく、その変革の軸となる存在を、私たちは社会起業家と呼び、このプログラムから数多くの力ある社会起業家を輩出していきたいと考えています。よりよい社会を作るため、起業家も企業も学びあい成長し続ける、そんな挑戦と共感のエコシステムを今後も広げていきます。



挑戦と共感のエコシステムを広げていきたい

米田直子

ソーシャルイノベーション事業部

アメリカン・エクスプレス・サービス・アカデミー

NPOやソーシャルベンチャーの経営者が集う2泊3日の合宿型研修

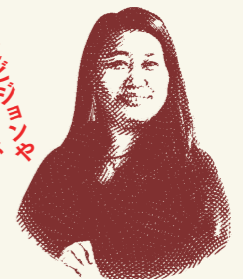
卓越したサービスを構築した先輩起業家や、サービス、リーダーシップの専門家、そしてアメリカン・エクスプレス社の幹部など、豪華講師陣による講義を実施。受講生は様々なインプットを受けた後、学びを現場に生かすためのプランを作成します。先輩起業家ほか10名のメンターとのひざぎめのメンタリングを経て、最終日はプレゼンテーションを行います。また、半年後には受講生が再び集まり、現場での実践を振り返りながら相互にフィードバックを行い、学びを確実なものにするプログラムになっています。

Coordinator Comment

2011年、東日本大震災があった年に誕生した本アカデミー。監修であるケア・センターやわらぎの石川治江さんをはじめ、たくさんの講師の方に知恵をお借りしながらプログラムも進化してきました。2015年からは東京と大阪の2都市で開催。監修補佐としてブレン・ヒューマンティの能島裕介さんをお迎えし、これまで350名以上の卒業生を輩出することができました。2019年は本アカデミーのグローバル・サミットにおいて、日本人として初めてNPO法人マドレボニータの理事長・吉岡マコさん（2014年卒業生）がアメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー・アルムナイ・アワードを受賞。今後はアドバンストプログラムも企画しており、ますますこのコミュニティを盛り上げていきたいと思っています。



忙しくてセッションや計画を練る時間がない方におススメ



野田香織

ソーシャルイノベーション事業部



西武ソーシャルビジネス成長応援融資「CHANGE」

NPO・ソーシャルビジネス向けの融資と経営支援

西武信用金庫と日本財団との連携で始まった、西武ソーシャルビジネス成長応援融資「CHANGE」は、まちの「くらしを支える事業」であるNPOやソーシャルビジネスが、より持続的に発展することを資金面と経営面で支えるプログラムです。2013年に始まった本プログラムでは、2019年3月末時点で70社に融資をしています。融資を活用して事業を進展させ、規模を拡げて2度目の融資を申請する組織も増えています。「CHANGE」の融資を活用している組織には、事業モデルの確立、経営資源の確保、人材育成・組織づくり等、社会や地域のチャレンジをさらに加速する機会が提供されます。

Coordinator Comment

社会課題の解決を主な目的とする、NPO・ソーシャルビジネスにとって、お金は、事業の主な目的ではないとしても、経営資源であり、重要であることに変わりありません。「CHANGE」は、NPO・ソーシャルビジネス専用の融資として、NPOやソーシャルビジネスが活躍し、地域が豊かになり、資金が循環するという流れをつくるために奔走し、「CHANGE」ならではのNPO・ソーシャルビジネス融資を追求してきました。「CHANGE」の特色は、融資後の経営支援にもあります。融資を活用している組織にヒアリングをすると、特に組織・人に関する課題が多く聞かれ、ここに対してのアプローチを強化していきたいと考えています。お金を巡らせ事業を強化し、インパクトを拡げる、その一助としていただきたく、今年度も力を入れていきます。

IMPACT Lab. (インパクト・ラボ)

うみ出すインパクトの桁を変えるチャレンジへ

「今やっている事業の延長線上に、私たちが目指す社会は来るのだろうか？」創業期を越えて、5年、10年と実績を重ねている経営者だからこそ、立ち止まってそう考えることが必要なときがあります。「インパクト・ラボ」は、よりよい社会を自らの手で創るリーダーが集う学びと実践のコミュニティです。2017年に開始した第2期には、若者・女性・障がい者を含む多様な人々への就労や自立支援に取り組む8つのNPO・企業が参画。英国の先進団体の現場視察、さまざまな分野の経営者との対話、事業に対してのピア・レビュー等を通して、うみだすインパクトの桁を変えるチャレンジをしています。

- 協賛: J.P. モルガン ●プロボノ協力: デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

Coordinator Comment

「社会起業家」という言葉の、有名な定義があります。「社会起業家は、魚を与えるだけでなく、そして魚の釣り方を教えるだけでも満足しない。彼らは水産業全体を変革するまで活動をやめない」——水産業のようなシステムそのものを変革するには、自らの事業のことだけでなく、他のプレイヤーと協力することや、問題が引き起こされている根本構造を理解することが必要です。第2期に参画した8つの団体（Kaizen、つくばアグリチャレンジ、しんぐるまざあず・ふぉーらむ、フェアスタート、Switch、キズキ、HELLOfife、マドレボニータ）は、インパクト・ラボを通してそこに取り組み、現在の就労支援の制度や慣習にとらわれない柔軟な発想で、新しい解決策（サービス）や価値観を提示し続けているパイオニアです。



社会に意味ある結果から逆算する総合格闘技！



山崎光彦

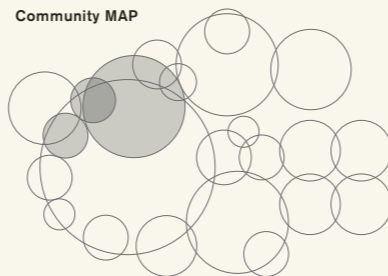
ソーシャルイノベーション事業部



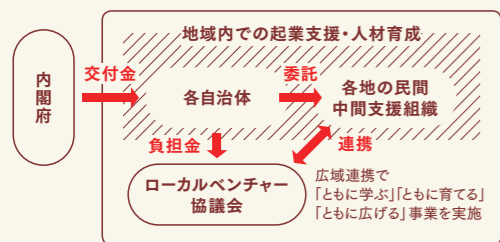
組織基盤を整え、挑戦を進める機軸に

本木裕子

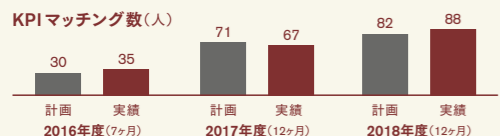
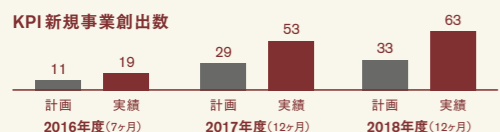
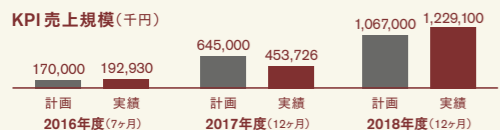
ソーシャルイノベーション事業部



LVサミット2018



KPI達成状況



ローカルベンチャー協議会

持続可能な地域に向けて、挑戦する人材への投資をともにし続けるプラットフォーム

岡山県西粟倉村とETIC.が呼びかけをし、2016年9月に発足。各地域の自治体が、民間の中間支援・コーディネート組織と協働推進体制を作ることを協議会参画の条件としてスタート。ローカルベンチャーの創造と推進に向けて「ともに学び、育て、広げる」ことを目的とした広域連携プラットフォームです。

●参加自治体:北海道厚真町、岩手県釜石市、宮城県気仙沼市、宮城県石巻市、石川県七尾市、岡山県西粟倉村、鳥根県雲南市、徳島県上勝町、熊本県南小国町、宮崎県日南市(事務局)NPO法人ETIC.

Coordinator Comment

LV協議会は、本音で地方の未来を語り合えるコミュニティです。地域や立場も超えた深い繋がりから、最近では学び合いだけでなく、政策提言も見据えた調査・研究も始めています。地方の明るい兆しを感じてください。

1. とともに学ぶ

—最前線での「試行錯誤」をシェアしよう—
「テーマ別分科会&自治体合同合宿」

観光やエリアブランディング、福祉・住民自治、農林漁業など、それぞれの地域によって、得意な領域が異なります。また、都市部企業との連携や、地域内の金融機関との連携、テクノロジーの活用などでもそれぞれに特徴が異なります。私たちは、お互いの最前線での「試行錯誤」をシェアしていく機会、また専門人材も相互に交流しあうような機会づくりを進めています。

2. とともに広げる

—ローカルベンチャー推進のエコシステムづくりへ—
「ローカルベンチャーサミット」

ローカルベンチャー施策の推進には、人材や知恵、資金、そして事業機会やパートナーなど、様々な投資がされ続ける循環を作っていくことが不可欠です。私たちは、ローカルベンチャー推進のためのエコシステムづくりを目指し、ネットワークを広げていきます。

3. とともに育てる

—協働での人材育成への投資—
「ローカルベンチャーラボ」

地域を担うプレイヤーへの投資をし続けることは、何よりも大切なこと。ただ人材育成には時間がかかり、多くのリソースも必要となります。私たちは、その人材育成の中核となるエンジンとして、協働で「ローカルベンチャーラボ」に取り組んでいます。

2019年度(第3期)テーマラボ一覧(●コースファシリテーター ○メンター)

【関係人ロデザイン】●中島淳氏(株式会社フォーシーズンズ)○高砂樹史氏(総務省地域力創造アドバイザー)【エリアブランディング&マネジメント】●寺井元一氏(株式会社まちづくりエイティブ)○入川秀人氏(入川スタイル&ホールディングス)【土着型SDGsビジネス】●麻生翼氏(NPO法人森の生活)○横石知二氏(株式会社いどり)○広石拓司氏(エンパブリック株式会社)【地域商社】●森山奈美氏(株式会社御蔵川)○駐地履正氏(株式会社四万十ドラマ)【地域を活かすビジネス創造】●花屋雅貴氏(株式会社エーゼロ厚真)○牧大介氏(エーゼロ株式会社)【安心豊かな暮らし創造】●龍島一匡氏(合同会社Amahoro)○船木成記氏(長野県参与、尼崎市顧問)【拡張家族】●浅野豪氏(徳島県上勝町役場)○坂田賢治氏(コミュニティCross)○近藤ナオ氏(株式会社アソット)○藤代健介氏(株式会社prsm)【ソーシャルビジネス(新設)】●山元圭太氏(合同会社喜代七)○矢田明子氏(コミュニティナースカンパニー株式会社)○石川治江氏(NPO法人ケアセンターやわらぎ)【Local Tech(新設)】●種子野亮氏(グイェムウェア株式会社/LVラボ二期生)○船木成記氏(長野県参与、尼崎市顧問)



木村 静

ローカルイノベーション事業部

本音で語り合える未来を一緒に描いていこう

YOSOMON!

「地域で働く」をもっと身近に! YOSOMON!

YOSOMON!は、スキルや経験を活かし、会社を辞めずに地方企業の課題解決に参画できるプロジェクトを紹介するサイトです。移住や定住を前提とせず、今いる場所から地方企業に関わることができます。本サイトでは、地域企業が抱える課題に対する、人材の「共感」と「貢献したい」という思いによるマッチングを大切にしています。経営者に寄り添い経営課題について一緒に考えたり、戦略についてアドバイスをしたり、実際に手を動かしてプロジェクトを進めたりなど、人材の関わり方は様々。2018年6月からスタートし、約500名が登録、約20名がマッチングしています。

Coordinator Comment

YOSOMON!では、経営者の想いや、企業の理念に共感し、自らのスキルや経験を生かして貢献したい、役に立ちたいという方にご活躍いただいています。地域企業がこれまで出会うことができなかったような人材とマッチングし、プロジェクトを通して人材との信頼関係が築かれ事業も推進される様子は、見ていてもワクワクします。副業という形で、自分のスキルアップだけでなく、地域や企業にも新しい価値を生み出すことができるチャンスがYOSOMON!にはあります。これからの新しい働き方として、いろんな方に挑戦していただけると嬉しいです。

日本全国!地域仕掛け人市

～新たな巡りあいの輪が広がるマッチングフェア～

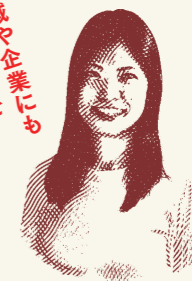
「日本全国!地域仕掛け人市」は、全国から集まった、地域で新たな挑戦や町づくりに取り組む本気で地域を良くしようとしている人=『地域仕掛け人』と、都市部の人材を繋ぐマッチングイベントです。「自らのスキルを活かして挑戦できるワクワクする場が地域にはたくさんあること」を多くの人に伝えることをコンセプトに開催しています。毎年400名を超える方にご参加いただき、今年までに述べ3500名以上の出会いが生まれました。本イベントが契機となり、参加される方が地域で開催されるプログラムへ参加する、地域企業へ転職・副業・インターンする、地域で起業する、といった変化に繋がり、ひいては日本全国を巻き込んだ人材流動を生み出すことを目的としています。

Coordinator Comment

日頃多くのイベントやプログラムを企画運営していますが、一番思い入れがあるのがこの「日本全国!地域仕掛け人市」です。それは、私自身が以前は地域で働いており、この仕掛け人市がきっかけとなって今の職場で働くことになったためです。地域と都市部、どちらが優れているという訳ではなく、その人の人生において、あるタイミングにおいては都市部が合っていて、ある時は地域が合っていた、ということだと感じています。私のように人生を変える出会いが1つでも多くこの場で生まれてほしい、参加者に本当に合う地域や働き方が見つかって欲しいという思いから、このイベントに関わっています。

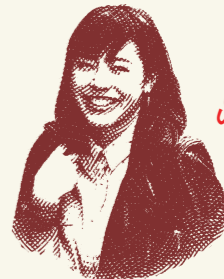


地域や企業にも新しい価値を生み出せる機会に



藤田 綾女

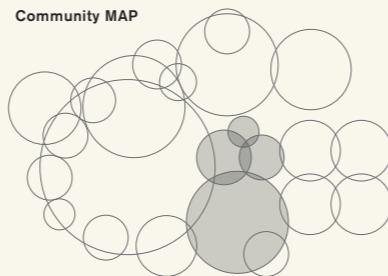
ローカルイノベーション事業部



柴沼 奏

ローカルイノベーション事業部

人生を変えるための出会いをここで



2020 and Beyond 関連プロジェクト①
『社会課題解決中マップ』

SDGsや独自のカテゴリごとに登録された、社会課題解決中アクションのカタログです。Beyondミーティングで提案されたプロジェクトや、ETIC.の各種アクセラレーションプログラムのOBOGによるプロジェクトを中心に、2020年までに1000件の掲載を目指しています。



2020 and Beyond 関連プロジェクト②
『東北グローバルチャレンジ』

2020を契機に、東北から世界に突き抜けるモデルを育む——東北グローバルチャレンジ実行委員会（企画運営：ETIC.、一般社団法人東の食の会 協賛：J.P.モルガン）は、東北から世界への展開を加速させていく農業・水産・食分野のリーダーたちの意志ある挑戦を全力で応援し、またその次世代を育むプラットフォームを、プロジェクト第1弾として2019年より開始します。



倉辻悠平

Social Impact for 2020 and Beyond 事務局

Social Impact for 2020 and Beyond
イニシアティブ

未来予測から未来意志へ、2020とその先の未来に向けて次の社会を創る

私たちは、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年を、社会や人の生き方が進化した契機であったと未来の歴史に残していくべく、2016年に「Social Impact for 2020 and Beyond」イニシアティブを立ち上げ、様々な領域のリーダーのみなさまと共に行動を起こしてきました。

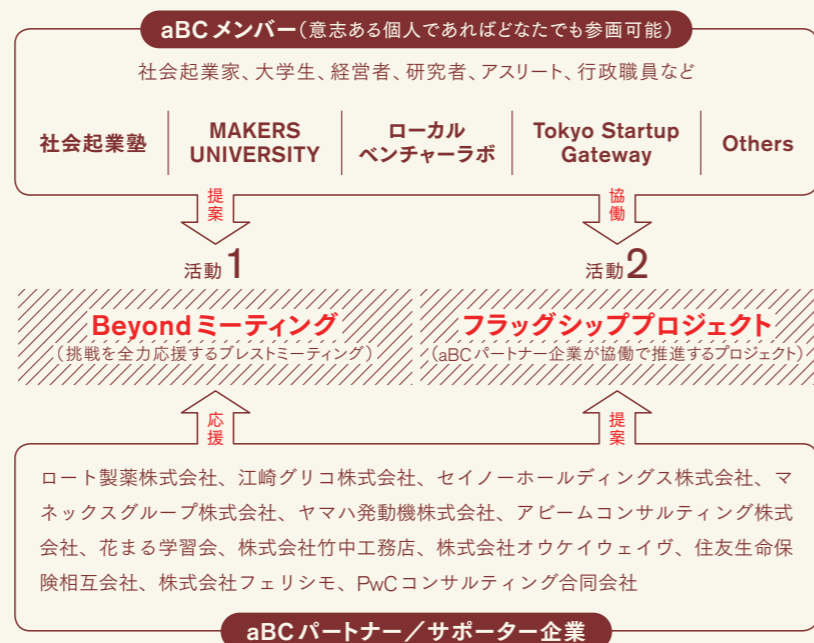
Coordinator Comment

2016年に、ロート製薬/山田会長、セイノーホールディングス/田口社長、若い起業家との何気ないセッションの中からまさに創発的に立ち上がったプロジェクトです。あつという間に、意志ある企業・会社員・起業家・大学生・個人・自治体・教育関係者・アスリートが賛同し、下記の機会を介して、個人の意志をつなぐ約300人規模のコミュニティがはぐくまれていきます。

and Beyond カンパニー

立場や組織の垣根を越え、個々がお互いに実現したい未来意志を持ち込み、社会イノベーションをともに目指す創発型カンパニー

Social Impact for 2020 and Beyondを力強く推進していくために、共感いただいた企業パートナーの皆さまとともに、2018年8月に「and Beyond カンパニー」を設立しました。「意志ある挑戦が溢れる社会を創ること」を活動目的に掲げ、お互いを「応援しあう文化」づくりと、挑戦を応援する仕組みづくりに取り組んでいます。



DRIVE キャリア

「思い」と「やりがい」で仕事をえらぶ、求人サイト

DRIVE キャリアはスタートアップやソーシャルベンチャーなど「未来を創る」仕事に特化した求人サイト。条件面だけではなく「働く人の思い」と「仕事のやりがい」そして「組織の目指すビジョン」を丁寧に紹介しています。ユーザーの60%が35歳以下の若手社会人。「キャリアアップ」より「キャリアチェンジ」して社会に貢献したい、仕事を創る側としてチャレンジしたいという方に多くご利用いただいています。

Coordinator Comment

私の好きな言葉は、「DRIVE キャリアのおかげでいい人（仕事）に出会えました」。DRIVE キャリアには、「どうかいい人に届いて欲しい」と、思わず手に汗を握ってしまう求人が複数掲載されています。社会課題に本気で向き合う団体と、志高く転職・就職する求職者。双方のご縁をつなげた時、日本の未来は明るいぞ、と希望のおすそ分けをして頂いています。2019年は、今よりもっと、志の発揮を助けるサービスになれるよう精進します。

DRIVE インターン

大学1・2年生からはじめる本気のインターンシップ・メディア

将来の夢やビジョンを実現するために実践の場を求める学生が、社会や地域の課題解決に挑む起業家やリーダーの右腕として、新たな価値の創造や、課題解決に本気で挑んでいく長期実践型のインターンシップ・プログラムです。

DRIVE メディア

挑戦者たちの生態系を可視化・アーカイブするウェブメディア

DRIVE メディアは、未来の兆しを示すアイデア・トレンドやイベントなど、これから創る人たちを後押しするコンテンツを発信するメディアです。ETIC.のプログラムの参加者や協力者の活動、コーディネーターが支援する各地のプロジェクトや各セクターの起業家たちの新しい動きや見据えている未来について、インタビューや寄稿を通してお伝えします。ETIC.の周辺にある、各セクターの最先端で課題解決に取り組む挑戦者たちの言葉から、地域や日本、そして世界の未来の姿が見えてきます。

ピックアップ プロジェクト_5

2020 and Beyond
DRIVE キャリア
DRIVE インターン
DRIVE メディア



DRIVE キャリア



DRIVE インターン



DRIVE メディア



乗越貴子

DRIVE キャリア事務局

ワールドウォッチ： 世界の潮流とETIC.

ETIC. と海外のキーパーソンや
企業・団体との接点や、
そこから私たちが感じている
未来の兆しをご紹介します。

watch 1



世界の企業は社会問題と どう向き合っているのか？

「SDGs」「ESG投資」など、企業の社会的責任にスポットライトが当たる時代です。2018年10月、CSV（共有価値の創造）という概念を提唱し、その普及に努めてきた米国FSG社のマネージング・ディレクターであるフィリップ・サイオン氏をゲストに迎え、エティックが主催したイベント「社会価値創出を目指す企業のこれから」には、企業やNPOのリーダー約40人が集まりました。世界のグローバル企業の豊富な事例とあわせて、『CSVの第一歩は、経営者が社会問題に対する捉え方を根本的にシフトさせること。』と語るサイオン氏から学ぶ、CSVを実践する企業が心に留めたい3つのポイントとは。

watch 2



チームアントレプレナーを世界中で 輩出し続けるスペイン・バスク発の大学

スペイン・バスクで2008年に設立された「モンドラゴン・チーム・アカデミー」は、他に類を見ないアプローチで起業家的人材を輩出し続けている4年制大学です。同大学のミッションは、個人よりもチームで大きなビジョンを達成する“チームアントレプレナー”を育成すること。「チームで会社を設立し稼ぐことが進学要件」「世界中を旅してビジネスを起こす」「教授はいない。いるのはコーチだけ」というユニークな学習モデルは、設立10年を経て、いまやアジアを含む世界に広がりを見せ始めています。卒業生のヨン・アンデルさんらの語りを通して、このアカデミーの起源と価値の核心に迫りました。



こちらのQRコードから、以下の2つの記事を含むDRIVEメディアでの「ワールドウォッチ」カテゴリの記事をご覧ください。

Media

メディア掲載

- 2018/6月号 (雑誌)Forbes
WHAT'S BEHIND THE LIST 世界一を目指せ! 公務員を使え! 連携せよ!
- 2018/6月号 (雑誌)ソトコト
ローカルキャリアを考えるウェブサイト集
- 2018/07/02 (WEB)東京新聞
〈地域のちから〉街活性へ「手伝いたい」仕掛け人市550人が熱視線
- 2018/07/04 (WEB)CSRマガジン
企業とNGO/NPO 社会起業家たちが得た“学び・気づき”
- 2018/07/11 (新聞)朝日新聞
復興リーダー「右腕」を
- 2018/07/20 (WEB)みんなの経済新聞ネットワーク
大学生のための3ヶ月間短期集中スタートアッププログラム「マイプロFor Kanagawa」が参加募集
- 2018年8月号 (雑誌)産業新潮
新たな社会創造の原動力となるべく“起業家精神”を育む活動を続ける
- 2018/08/13 (新聞)日本経済新聞
副業の目的、二極化
- 2018/09/03 (新聞)日本経済新聞
不登校の「学校」15年
- 2018/10/01 (WEB)Sankei Biz
【ベンチャー支援の現場から】「家業イノベーション・ラボ」が地道な効果

- 2018/10/24 (ラジオ)文化放送
タケ小山のNEWS MASTERS TOKYO
- 2018/11月号 (雑誌)月刊 人材ビジネス
業界最前線レポート「地方で活躍したい」の声に「副業・兼業」サポートで応える
- 2018/11/06 (新聞)北海道新聞
厚真前へ復興へ
- 2018/12/07 (新聞)日本経済新聞
希望の存在
- 2018/12月号 (雑誌)企業と人材
東北被災地での新しい学びの場と企業研修 山内幸治
- 2019/1/15/ (新聞)日本経済新聞
社会起業家を育てる①
- 2019/1/16 (新聞)日本経済新聞
社会起業家を育てる②
- 2019/1/17 (新聞)日本経済新聞
社会起業家を育てる③
- 2019/1/18 (新聞)日本経済新聞
社会起業家を育てる④
- 2019/1月号 (雑誌)日経WOMAN
私らしい働き方で未来を変える、4つのヒント 村田さんのここがスゴイ
- 2019/2/9 (テレビ)テレビ東京
出川哲朗 はじめての審査員長 ~TOKYO STARTUP DEGAWA~
- 2019/2/18 (新聞)神奈川新聞
大学生がアイデア披露

- 2019/3/18 (新聞)電通報
「東北から、パラダイムシフト」めぐりみちのく復興事業シンポジウム開く
- 2019/3/22 (新聞)読売中高生新聞
「10代のアイデア」466作品
- 2019/4/8 (新聞)中部経済新聞
「アメリカン・エクスプレス・アカデミー」10周年記念プログラム開催
- 2019/4/12 (新聞)山陰中央新聞
竹中工務店 ヤマハ発動機 雲南市と連携協定
- 2019/4/12 (新聞)建設工業新聞
健康を切り口に街づくり支援
- 2019/4/12 (新聞)読売新聞
雲南の課題 企業と解決
- 2019/4/13 (新聞)鳥根日日新聞
地域課題解決へ連携
- 2019/5/16 (新聞)建設工業新聞
「まちづくり総合エンジン企業」へ
- 2019/5/21 (新聞)朝日新聞
支援から専門生かす場へ
- 2019/5/29 (WEB)Sankei Biz
家業継いで新事業 若手経営者を支援 事業承継支援組織がプログラム参加募集

ヒストリー

“未来意志*を持って社会をつくる人”が増え続け、課題が自律的に解決されていく社会の実現に向けて、「Social Impact for 2020 and Beyond」を契機に、ETIC. 自身の変革を進めています。

*未来を予測するだけでなく、ポジティブな意志を持って新しい社会を創る力。私たちはそれを「未来意志」と呼んでいます

1993	1997	2001	インパクト創出支援領域
● 1993 学生団体として、 起業家を目指す学生が集まり、 ETIC.の前身となる活動開始	● 1997 日本初の長期実践型インターシップ プログラム(EIP)スタート	● 2001 日本初のソーシャルベンチャー プランコンテスト「STYLE」開始	
● 1994 起業を志す関東近県の大学生を 中心に学生アントレプレナー 連絡会議が発足	● 2004 地域プロデューサーたちの 協働・相互支援プラットフォーム 「チャレンジ・コミュニティ・ プロジェクト」開始	● 2002 創業期のハンズオン支援 「社会起業塾イニシアティブ」開始	
● 1997 事務局の名称をETIC.に統一。 NPO事業体へ移行。	● 2007 EIP卒業生2,000人突破	● 2010 内閣府地域社会雇用創造事業 「ソーシャルベンチャー・ スタートアップマーケット」にて 95人の社会起業家を支援	
● 2000 NPO法人(特定非営利活動法人) 認証	● 2012 地域仕掛け人市、地域仕事づくり コーディネーター戦略会議等を開始	● 2011 「アメリカン・エクスプレス・ サービス・アカデミー」開始。 東北の復興リーダー支援 「右腕派遣プログラム」開始。	
● 2011 東日本大震災	● 2014 東京発・400文字から世界を変える スタートアップコンテスト 「Tokyo Startup Gateway」開始	● 2013 ソーシャルビジネス向けの 資金調達と経営支援「CHANGE」 開始。人材・資金による 事業成長支援へ。	● 2015 変革の担い手として社会的 インパクトの拡大を目指す リーダーが集うコミュニティ 「インパクト・ラボ」設立
● 2014 ETIC.創設20周年イベント	● 2015 「DRIVEインターン」開始。 EIPを終了し、現代版私塾 「MAKERS UNIVERSITY」設立。 高校生向け「MAKERS UNIVERSITY U-18」開始。 次世代リーダー育成をより先鋭化。	● 2014 未来領域の仕事に特化した 求人メディア「DRIVE」開始。 ハンズオン支援による 社会起業家支援、400名を突破。 パートナーシップによりスタートアップ の多様性を拡大「SUSANOO」	● 2016 全国先進自治体の広域連携や 民間連携による 「ローカルベンチャー推進協議会」 起ち上げ
	● 2017 認定NPO法人 取得	● 2016 地域企業×都市部人材の 副業兼業マッチング 「YOSOMON!」開始。	● 2017 コレクティブ・インパクトを テーマとした勉強会を開始
	● 2020 東京オリンピック開催	● 2017 「ローカルベンチャーラボ」開校。 Social Impact for 2020 and Beyond スタート。	● 2018 社会イノベーションとともに目指す 創発型カンパニー 「and Beyond カンパニー」スタート
	● 2021 東日本大震災から10年	● 2017 「ローカルベンチャーラボ」開校。 Social Impact for 2020 and Beyond スタート。 アントレプレナーシップ開発の機会を 日本全国に拡大へ。	
	● 2025 2025年問題(団塊世代が後期高齢者 (75歳以上)の世代に突入)		
	● 2030 国連「持続可能な開発目標 (SDGs)のための2030アジェンダ」		

ETIC. コーディネーターが見据える未来の社会とは？

未来をつくる人たちの挑戦を支え続けてきたETIC。

小さな未来の兆しがどんどん成長し、社会を変えていく大きな流れになる――

この26年間、そういった場面にたくさん立ち会ってきました。

そんなETIC. コーディネーターがいま感じている、次代への変化の芽やこれからの社会をつくるアイデアを集めてみました。

ここに載せているのはほんの一部。ETIC. コーディネーターとお会いしたら、ぜひ皆さんの考えもお聞かせください。

☞ 選択肢の格差!? 高校生のアントレプレナーシップの 開花が急務 ☞

――内野 博礼



主に大学生が参加する、次世代のイノベーターを育成する学校「MAKERS UNIVERSITY」の生徒たちがすごいんです。自分の信じた道を突き進んでいて、接している

と本当にワクワクする！ こういった動きが加速度的に増えていく社会情勢も感じているので、このプログラムを発展させる取り組みを愚直に続けていきたいです。日々考えているのは、どうしたらこういった生き方を選択できる若者を増やせるのかということ。若者の中で、「選択の格差」が開いていくことを感じています。高校生くらいのうちにアントレプレナーシップを開花させるのが大事なのではないでしょうか。高校生向けのプログラムとして、「MAKERS UNIVERSITY U18」も実施しています。このプログラムを型として、地域展開もできるはず。地域に貢献したい中小企業の起業家にメンターを担ってもらおうと共に、東京で活躍しながらも地元で貢献したい起業家などにスポンサードしてもらおう、という形で。高校生で起業に関心がある人は増えているから、MAKERS生を学校に派遣して、起業家のキャリアを身近に感じてもらうといった形での社会への還元もあるかもしれません。

☞ コーディネーター的教職員に期待! ☞

――伊藤 淳司



これからは、本業を持ちながらダブルワークで大学教員に就く人が増えるのではないのでしょうか。こういった人が、実践的な教育カリキュラムや、地域をフィールドに

した新たな取り組み、研究開発を大学⇄学生⇄地域・民間企業団体のそれぞれを繋ぎながら実施していく。そんな「コーディネーター的教職員」が新しいモデル作りをしていくケースが増えると面白いですね。

☞ 社会起業家の支援だけでなく、 志のあるNPO、企業、行政、 そして個人の支援へ ☞

――番野 智行



より良い社会をつくることに挑戦するリーダーをとことん応援したい。そんな気持ちとともに、私たちのチームは社会起業家の支援に

取り組んできました。加えて最近では、トップを対象としたプログラムだけではなく、右腕や幹部人材を対象としたトレーニングや、メンバーの強みが発揮できるような組織作りの支援も行っています。志と能力を備えた人材がこのセクターに集まってきており、それが発揮されることに大きな可能性を感じています。また、SDGsやESG投資が普及する中、企業の方々との関係性も変化しています。社会起業家との連携・協働のコーディネートや、リーダー層向けの研修の依頼を頂くことが急増しています。コレクティブ・インパクトという言葉も注目を集めています。NPO、企業、行政、そして一人ひとりの個人が、ともにどんな社会を作りたいのか、それぞれがどんな役割を果たすのかを考え、行動に移していく。まだまだ道のりは長いですが、確実に個人や組織の意識・行動は変わってきていると感じています。

☞ ソーシャル×ビジネス×行政、融合時代に。 それらをつなぐコーディネーターが いよいよ本領発揮! ☞

――宮城 治男



ソーシャルセクターが政策づくりのパートナーとして重要になっていくのではないかと考えています。各セクターは、繋がる必要性をお互いに認識し始めていますが、

現状その繋がり方がごちない。行政も、ソーシャルセクターも双方がうまくお互いを使えてない。また、地域横断で考えなくてはいけない事象なども、今までの繋がり方だとうまく扱えていないように感じます。誰かが答えを持っていて、みんなを導いてそれを市民に知らしめるという政策作りの時代ではなくて、当事者が主体的に参画し一緒に社会を、政策を創っていくようになるのではないのでしょうか。それには、その当事者意識を引き出し、繋いでいくコーディネートが必要です。これまでのやり方を踏襲して、権威や規制、助成金などで人を動かそうという時代ではないので、プロデュースやコーディネートといった自らの意志で自律的に未来をつくり、課題を解決していくエコシステムが重要になると思っています。近年、ソーシャルとビジネスの領域が融合しつつあると言われていますが、政治や行政もそれに続くでしょう。すべてのセクター、すべての人にコーディネート力が求められ、社会起業家的であることが求められ、ともに社会をつくっていくという時代になる。そういった中間支援やコーディネーターの役割は価値として可視化しにくかった。しかし、これからは感謝の気持ちを価値とする「感謝経済」のようなものが加速していくので、そういったコーディネートそのものが仕事として認識され、あらたに創出されていく動きが加速していくと思います。

☞ 「仕事」はやらされるものではなくて、 人生における創造作業という 定義を変えたい! ☞

――鈴木 敦子



自分が実現したい社会に自らが当事者として参加してることが「仕事」――それが当たり前になる社会になるといいなあと思っています。

「仕事をしなければならない」、「勉強をしなければならない」、ではなくて「仕事をしたい」「学びたい」ということが普通の社会を実現できたら、自然と自らの人生を楽しみ、楽しむことで成長もしている社会になるでしょう。大人も子どもも、自分の人生も社会も自分たちで創っていきけるという可能性を感じられる社会にしたい! やみくもにいい大学をめざすための高校ってそんなに必要? 自分の人生の時間をつかう「仕事」で、本当に大切な事って何だろう? そんな問いを持っている人たちの選択をお手伝いするサービスを創りたいと思っています!

Partner & Sponsor

パートナー & スポンサー

ETIC. は企業・行政・大学などのパートナーの皆様とともに、ソーシャルイノベーションを推進していくための生態系づくりを進めています。

〈パートナー組織のニーズ例〉

- 事業開発 オープンイノベーション / SDGs 推進
- 人材採用 / 育成 イノベーション人材へのリーチ / 社内起業家育成
- 組織風土改革 兼業副業推進
- 企業価値向上 社会的インパクトの推進 / プロボノ推進
- ソーシャルキャピタル向上 戦略的 CSR



次世代リーダー、社会起業家
全国先進自治体との協業機会
ETIC. の起業家育成支援ナレッジの活用

ETIC. の次世代リーダー育成 アクセラレーションプログラム

- 年間のべ2,000名以上の次世代リーダー・社会起業家が参加
- 1,500名を超えるOBOG起業家
- 全国70以上の地域プロデューサーとのネットワーク
- 自治体・行政・大企業・ベンチャー・NPO・大学など多様なセクターとのつながり

連携例 1 オープンイノベーション 大手企業 × 社会起業家 × 自治体

地域や企業が持つ休眠資産を活用したアイデアブレスト&マッチング機会「地域オモシロ大作戦」を開催（ローカルベンチャー協議会とand Beyondカンパニーの共催）

連携例 2 コレクティブ・インパクト推進 マルチセクターによる社会課題解決

複雑な社会課題の解決に向けて、コレクティブ・インパクトを題材とした実務者研修を、2018年はファンドレイジング協会、日本財団をパートナーとして、約20のNPOや企業が参加。

連携例 3 イノベーション人材リーチ 20代若手起業家への投資 / 協働

MAKERS UNIVERSITYメンバーが、学習アプリ開発会社を花まる学習会グループに売却し、同社の執行役員CTOに就任

連携例 4 戦略的CSR プログラム・パートナー

CSVを見据えた戦略的CSRとして、NECや花王などパートナー各社の重点領域に取り組む社会起業家支援「社会起業塾イニシアティブ」

パートナーシップ TOPICS 2018-2019

TOPIC 1 雲南ソーシャル チャレンジバレー構想に 向けた連携協定締結



島根県雲南市と竹中工務店、ヤマハ発動機、NPO法人ETIC. は、雲南市内の地域課題解決と市民の暮らしの豊かさの創造に資するための包括連携協定を2019年4月に締結。協定締結の一環で、総務省の「地域おこし企業人」制度を活用し、竹中工務店の社員が雲南市政企画部政策推進課に2019年4月より在籍出向として赴任。

TOPIC 2 NEC 社会課題の 現場を体感する 人材開発プログラム



2002年にNECと協働でスタートした若手社会起業家育成プロジェクト「NEC社会起業塾」を起点に、2016年よりNECの経営幹部候補向けプログラム「社会価値創造塾」の国内ラーニング・ジャーニーに協力、介護福祉や地方創生の領域で、社会起業家との対話や現場訪問の体験をコーディネート。2019年よりNECの全社員向け社会課題体感型人材開発プログラムにも関わり、社会起業家とのプロボノプロジェクトなど、社会課題の現場に赴き体感するプログラムを、複数企画・運営。

Relationship

ETIC. との関わり方

実現したいビジョンを持ってプログラムに参画する、また法人としてETIC. との連携・協働を検討するといった関わり方はもちろん、個人として意志ある挑戦者を支える機会や、ご自身のキャリアを考える機会などもあります。



個人としてETIC. の活動に関わるには

1 Beyondミーティング (応援団として参加)

毎月第三週の水曜日もしくは金曜日に開催。5名のアジェンダオーナーの提案にアイデアブレストをすることで応援をする場です。応援団の一人として、どなたでも参加可能です。

2 DRIVEキャリア (個別キャリア相談)

「故郷を元気にする事業をおこしたい」「地域と東京をつなぐサービスをつくりたい」「将来の起業にむけてベンチャーで修行したい」など次のステップを模索している方に無料の個別相談サービスを行っています（事前予約制）。

3 Tokyo Startup Gateway (ビジネススクール)

国内最大級のスタートアップコンテスト「Tokyo Startup Gateway」のビジネススクール部門。事業や活動の立ち上げ、プロジェクトの準備を始めたい方に向けた実践型スクールです。毎年夏頃から開校しています（参加費無料）。

※その他、個人の方がご参加できるイベント情報についてはETIC. のWEBサイトの「イベントカレンダー」をご確認ください。

4 プログラム / コンテストに参加する

1月 4月 7月 12月

各種アクセラレーションプログラム / ビジネスプランコンテストなどの場合



※募集・選考期間は、各プログラムによって異なります。詳細はETIC. のWEBサイトをご覧ください。
※インターシップや兼業・副業、転職などの各種マッチングサービスは通年実施しています。



企業・団体としてETIC. と協働するには

1 お問い合わせ

新たな連携・協働を模索されている法人の皆さまからのご相談を受け付けております。まずはお気軽にご連絡ください。

2 自治体向け説明会

年8回ほど、「地域に若者を呼び込む“政策”を考える」セミナーを開催しています。インターンや副業兼業、移住、起業など、様々なパターンの方々の事例や、それを推進する政策や企画についてご紹介しています。

3 オブザーブ参加する

打ち合わせを経て、より現場での活動のイメージを掘り下げていきたい場合には、ETIC. の各種プログラムやイベントなどにオブザーブ参加していただくことも可能です。

Partner

これからも多様なセクターの皆さまと連携しながら、社会の未来をつくる人たちが挑戦できる機会を広げていきます。



IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]
厚真町
石巻市
株式会社いろどり
株式会社ウエイクアップ
雲南市
エーゼロ株式会社
株式会社エーゼロ厚真
株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ
株式会社エリオス
NPO法人おっちラボ
株式会社Kaizen
神奈川大学
釜石市
釜石ローカルベンチャー事務局
上勝町
Global Giving

NPO法人ケア・センターやわらぎ
気仙沼市
気仙沼まち大学運営協議会
高知大学
コンソーシアムハグクミ
三和システム株式会社
NPO法人CRファクトリー
下川町
下川町産業活性化推進機構
Japan Society
人事院
創客創人センター
NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京
株式会社デジサーチアンドアドバタイジング
Transform LLC
七尾市
七尾街づくりセンター株式会社

西粟倉村
日南市
日本アイ・ピー・エム株式会社
日本経済新聞社
株式会社日本総合研究所
一般社団法人日本能率協会
NPO法人日本ファンドレイジング協会
社会福祉法人にんじんの会
NPO法人場とつながりラボhome's vi
ピクスタ株式会社
南小国町
南小国町ローカルベンチャー推進協議会
NPO法人森の生活
横浜国立大学
立教大学

Special Thanks

様々な形でETIC.を応援いただいている団体・個人の方々のご紹介です。

相川千絵 畦地麗正 麻生翼 新井 和宏 池田啓美 生駒 祐一 石井重成 出雲 充 市来広一郎	株式会社四万十ドラマ NPO法人森の生活 鎌倉投信株式会社 高知大学 テラスマイル株式会社 岩手興釜石市 株式会社ユーグレナ NPO法人atamista 株式会社熊野古道おわせ 一般社団法人イノラボ・インターナショナル/ 慶應義塾大学大学院 一般社団法人イノラボ・インターナショナル JOINS株式会社 NPO法人カタリバ 入川スタイル&ホールディングス 株式会社 梅原デザイン事務所 株式会社スクールウィズ 株式会社ワーク・ライフバランス 株式会社ABBALab 現 株式会社日本人材機構 ゼロトウワン株式会社 リカー・イノベーション株式会社 NPO法人東京シユレ 有限会社エコカレッジ 東京大学 株式会社デジサーチアンドアドバタイジング 鍼灸師 NPO法人クロスフィールズ 日本経済新聞社	古俣大介 小松洋介 小松志大 近藤ナオ 坂田賢治 指出一正 佐俣 アンリ Jeremy Hunter 重原あゆみ 嶋根秀幸 清水潤子 白木 夏子 鈴木祐司 芹澤孝悦 高砂樹史 高橋 大就 土屋志帆 寺井元一 友原琢也 中島淳 中土井僚 中村友哉 西村勇哉 丹羽妙 野崎俊一 能島裕介 配島一匡 橋田知世 長谷川敦弥 服部 彰治 花屋雅貴	ピクスタ株式会社 NPO法人アスヘノキボウ 宮城県気仙沼市 株式会社アソボット Cross 株式会社木楽舎 ANRI Claremont Graduate University 日本経済新聞社 Faustbeat Inc. NPO法人日本ファンドレイジング協会 株式会社HASUNA 公益財団法人地域創造基金さなぶり プランテオ株式会社 茅野市 一般社団法人 東の食の会 株式会社Co-leaders 株式会社まちづくりイェティブ 株式会社バッテリー 株式会社カルチャーアットフォーシーズンズ オーセンティックワークス株式会社 株式会社アクセルベース NPO法人ミラック NPO法人場とつながりラボhome's vi 京都外国語大学 NPO法人ブレンヒューマニティ 合同会社Amahoro 株式会社こいこい 株式会社LITALICO 札幌大通まちづくり株式会社 株式会社エーゼロ厚真	平川徳好 広石拓司 PhillipeSion 深尾昌峰 福田浩士 藤代健介 藤田ハルノ 瀬上恵美子 船木成記 古江強 星野佳路 牧大介 松崎光弘 松崎典子 松田悠介 松本典子 丸 幸弘 三代祐子 三好康志 三輪剛人 毛受 芳高 矢田明子 山倉あゆみ 山田敏夫 山元圭太 山本典正 横石知二 芳岡太郎 米倉史夏	株式会社ウエイクアップ 株式会社エンバブリック Humanity United 株式会社PLUS SOCIAL/ プラスソーシャルインベストメント 株式会社meleap(HADO) 株式会社prsm(プリズム) text/テキスト 長野県 オーセンティックワークス株式会社 株式会社星野リゾート エーゼロ株式会社 株式会社知識創発研究所 株式会社知識創発研究所 認定NPO法人 Teach for Japan 山形食べる通信 株式会社リハネス open hands 株式会社オボコイ NPO法人e-Education 一般社団法人アスパン Community Nurse Company株式会社/ NPO法人おっちラボ シンクボード株式会社 ライフスタイルアクセント株式会社 合同会社善代七 平和酒造 株式会社いろどり 株式会社五大陸 株式会社Waris
--	--	--	---	--	--

下記、2018年6月以降2019年5月末までに ご寄付いただいた方のうち、お名前掲載についてご連絡をいただいた方のみ掲載しております。匿名の方も含め、ともに挑戦を支えてくださっている皆様に、心より感謝申し上げます。

麻生 翼/安達淳子/アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc./荒木浩明/石井暁/石原昌尚/一木典子/株式会社ウエイクアップ/浦川拓也/上田敬/宇多田カオル/内山春彦/大津真一/大塚万紀子/合同会社All Days Sports/小笠原治/沖依子/小澤定久/小野祐輝/小俣健三郎/海月あゆみ/加藤亜希子/金子遥洵/兼元謙任/木村節子/一般社団法人玉露普及協会ひとしずく/窪田製薬ホールディングス株式会社/Global Giving Foundation/小足雄高/小橋一隆/齊藤剛/阪中真理/佐竹正範/佐藤徳紀/佐俣アンリ/澤田隆志/外和信哉/高井雅彦/高木朗義/武井浩三/竹森未知/田中康宣/塚越廣幸/株式会社デジサーチアンドアドバタイジング/株式会社 doode /Tokyo Athletes Office/戸塚恵亮/dot button company株式会社中屋 祐輔/中川美和子/永田京子/PATHWEAVE Co., Ltd./芳賀雅彦/ピクスタ株式会社/廣岡奈緒/株式会社フィッツコーポレーション/福島保/藤田さやか/藤田恭嗣/富洋観光開発株式会社/BlueBird Trading 株式会社/星誠/マーン株式会社/松原由菜/松本守祥/水野寿子/三輪隆/株式会社メディアドゥホールディングス/株式会社モルテン/山田進太郎/山中資久/山本和男/UK ONLINE GIVING FOUNDATION/横山尚多香/依光晃一郎/株式会社 worth style home/(敬称略、五十音順)

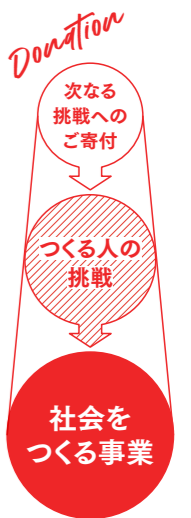
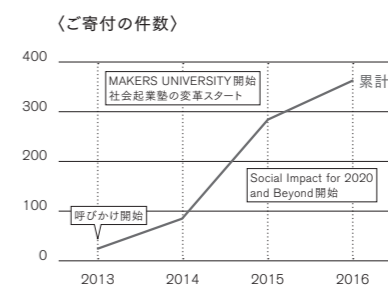
未来予測から、未来意志へ。 ともに、未来をつくる人への挑戦を支えるサポーター募集

2020年とその先の未来に向けて、次代の担い手とともに、来るべき機会を課題解決や変革の契機とすべく、みなさまと、意志をもってアクションを起こしていきたいと考えています。皆様のご協力ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

ご寄付は寄付控除の対象となります。

◎法人による寄付の場合
一般寄付金とは別に、特別損金算入ができます。
Ex. 資本金2,000万円、所得2,000万円の法人の場合：一般寄付金算入限度額13.8万円と別に、特別損金算入限度額66.3万円

◎個人による寄付の場合
寄付金額から2,000円を引いた額の最大50%が減税になります。
Ex. 年収500万円で1万円寄付した場合：確定申告することで4,200円を所得税から、最大800円が住民税から還付されます。



FINANCIAL REPORT

(2018年6月1日から2019年5月31日)

活動計算書 2018年6月1日から2019年5月31日まで

(単位:円)

一般正味財産増減の部

I 経常収益			
1	受取会費		-
2	受取寄附金・協賛金	138,873,152	
3	受取助成金等	31,465,000	
4	事業収益		
	①起業家型リーダー育成事業収益(次世代リーダー育成事業、震災復興事業)	66,491,088	
	②起業家型リーダーを育む社会基盤創造整備事業収益(ソーシャルイノベーション、ローカルイノベーション事業、メディア事業)	288,694,717	
	③職業紹介事業収益(人材紹介事業)	10,097,105	
	④その他この法人の目的を達成するために必要な事業収益	-	365,282,910
5	その他収益		144,007
6	指定正味財産から一般正味財産への振替額	26,780,602	
	経常収益計		562,545,671
II 経常費用			
1	事業費		
	①人件費	174,506,300	
	②その他経費	334,745,200	509,251,500
2	管理費		
	①人件費	46,894,018	
	②その他経費	15,949,367	62,843,385
	経常費用計		572,094,885
	当期経常増減額		△ 9,549,214
	税引前当期一般正味財産増減額		△ 9,549,214
	法人税、住民税及び事業税		144,500
	当期一般正味財産増減額		△ 9,693,714
	一般正味財産期首残高		162,891,759
	一般正味財産期末残高		153,198,045

指定正味財産増減の部

当期指定財産増減額	64,547,019
指定正味財産期首残高	48,153,859
指定正味財産期末残高	112,700,878
合計正味財産期末残高	265,898,923

貸借対照表 2019年5月31日現在

(単位:円)

I 資産の部			
1	流動資産		
	現預金	231,520,170	
	(内基金残高)	112,700,878)	
	その他流動資産	42,077,033	
	流動資産合計		273,597,203
2	固定資産		17,051,154
	資産合計		290,648,357
II 負債の部			
1	流動負債	24,749,434	
2	固定負債	-	
	負債合計		24,749,434
III 正味財産の部			
1	一般正味財産額		153,198,045
	当期末一般正味財産額		153,198,045
	(うち前期繰越一般正味財産)		(162,891,759)
	(うち当期一般正味財産増加額)		(△ 9,693,714)
2	指定正味財産額		112,700,878
	当期末指定正味財産額		112,700,878
	(うち前期繰越指定正味財産)		(48,153,859)
	(うち当期指定正味財産増加額)		(64,547,019)
	正味財産合計		265,898,923
	負債及び正味財産合計		290,648,357

基金残高(参考) 2018年6月1日から2019年5月31日まで

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
震災復興基金(東日本大震災)	48,153,859	14,805,489	26,780,602	36,178,746	震災復興リーダー支援プロジェクト関連基金
東北グローバルチャレンジ	-	26,522,132	-	26,522,132	東北の中小企業の海外進出支援
組織基金	-	50,000,000	-	50,000,000	組織の維持発展のための基金
合計	48,153,859	91,327,621	26,780,602	112,700,878	

監査報告書

私は、特定非営利活動促進法第18条の規程に基づき、特定非営利活動法人エティックの2018年6月1日から2019年5月31日まで活動計算書及び貸借対照表について監査を行った。私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当っては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行なった。また、経営の状況および財産の状況に関する監査に当っては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証をえるための手続きを行った。監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は適正に処理されているものと認められた。よって、私は、上記の活動計算書及び貸借対照表が、特定非営利活動法人エティックの2019年5月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

7月18日2019年 特定非営利活動法人ETIC. 監事

樋口 哲 朗

What is your Future?

ETIC. のアニュアルレポートをお手にとっていただき、ありがとうございました。

少しでも私たち、また私たちと一緒に挑戦する方々が思い描く未来の姿が伝わっていただけましたら幸いです。

こちらのページは、皆さまが考える未来を自由に書き出してください。考えるだけでワクワクする、大きな夢。

チャレンジしたいけれど、なかなかできていなかったこと。考えるだけでワクワクする、大きな夢。

10年後や100年後、もっと先の未来に実現してほしい社会のかたち。

皆さまの考える未来の中に、私たちが一緒できることがありましたら嬉しいのです。



Social Impact for 2020 *and beyond*

意志のある挑戦が溢れる社会を創る

※こちらはETIC.メンバーの子どもが描いた絵です。自画像?好きなキャラクター?なんの絵でしょうか。枠にとらわれない、子どもの頃の発想の柔軟さに立ち返っていただけたらと思います。押絵にしてみました。